

ますます、いよし。



伊予市
えひめ

交付金・負担金の算定等に関するWG（第4回） 自治体ヒアリング ご説明資料



（双海地域）双海シーサイド公園



（伊予地域）五色浜



（中山地域）犬寄峠の黄色い丘

愛媛県伊予市
2023年10月30日

伊予市の概要

愛媛県のほぼ中央、道後平野の西南部から四国山地の一部にわたり、西北は風光明媚な瀬戸内海に面しており、県都松山市から約10km、南予の玄関口に位置している。

2005年（平成17年）伊予市・中山町・双海町の1市2町が合併し、現在の伊予市となった。

松山自動車道が市の中央を通り、伊予インターチェンジや中山スマートインターチェンジがあり、松山市と南予方面の交通結節点として、また、松山空港へのアクセスとしても多くの利用がある。

自然や魅力がいっぱい！

削り節、唐川びわ、柑橘、
中山栗、ハモ、じゃこてん



(双海地域) 下灘駅



(伊予地域) いよ彩まつり



(中山地域) 中山栗



【伊予市の広報ツール】

- ・広報いよし（広報紙）
- ・伊予市ホームページ
- ・伊予市LINE公式アカウント
- ・防災行政無線 など



人口・世帯数（令和5年9月末現在：住民基本台帳）

- ①総数 35,576人
 - 男 16,840人
 - 女 18,736人
- ②世帯数 16,265世帯

面積 194.45km²（令和4年度国土地理院面積調より）

伊予市超高速ブロードバンド整備計画 策定の経緯

総務省は令和元年6月に「ICTインフラ地域展開マスタープラン」を策定し、光ファイバ整備目標として「令和5年度末までに未整備世帯数を18万世帯に減らす」としていたところ、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、当初の目標を2年前倒しして「令和3年度末までに達成する」とした。

本市の光ファイバ網について伊予地域ではおおむね整備されていたものの、中山地域及び双海地域では多くの未整備エリアが見られ、民間電気通信事業者によるエリア拡大については、設備投資に対する加入が見込めないという採算性の問題から、期待できない状況にあった。

インターネット環境が生活に必要なインフラとなり、県下他市町においても整備方針が打ち出される中、伊予市においても未整備エリアのインターネット環境の構築について、学校現場ではGIGAスクール構想が前倒しで1人1台端末の導入が早まったことなどから喫緊の課題と捉え、整備に向けた本格的検討に入った。

その後、電気通信事業者との協議・整備方針の決定など庁内調整を行い、過疎対策事業債や高度無線環境整備推進事業を活用し、令和4年度から令和6年度までの3か年で光ファイバ整備事業を実施することとした。

伊予市の現状（令和3年当時）

○ 愛媛県内での状況

光ファイバ整備の現状について、総務省の推計した令和元年度整備状況では、全国99.1%、愛媛県98.2%、伊予市95.74%であり、本市は全国及び愛媛県の整備率を下回っている状況である。

表1 愛媛県内の光ファイバ整備状況(令和2年3月末現在)

市町	整備率 (%)	市町	整備率 (%)
松山市	99.42	東温市	99.72※
今治市	99.40	上島町	100.00
宇和島市	99.10	久万高原町	50.95※
八幡浜市	99.12	松前町	100.00
新居浜市	99.62	砥部町	95.11※
西条市	97.44※	内子町	100.00
大洲市	82.29※	伊方町	100.00
伊予市	95.74	松野町	100.00
四国中央市	98.02※	鬼北町	100.00
西予市	99.43	愛南町	100.00

※令和2年度に整備を進めている自治体。
それ以外は、平成15年～平成29年までに整備を終えている。

○ 本市の現状

伊予地域はほぼ全エリアに光ファイバが整備されているが、中山地域及び双海地域については収容局の光ファイバの設備が未対応である佐礼谷地区、下灘地区を始め、多くのエリアが未整備となっており、中山地域及び双海地域の整備率は40.7%に留まっている。

表2 条件不利地域の光ファイバ整備状況一覧(令和3年5月末現在)

地域	区分	対象人口(人)	対象世帯数(世帯)	世帯割合(%)
中山地域	整備エリア	965	468	36.8
	未整備エリア	1,724	804	63.2
	小計	2,689	1,272	100
双海地域	整備エリア	1,528	717	43.6
	未整備エリア	1,977	926	56.4
	小計	3,505	1,643	100
全域	整備エリア	2,493	1,185	40.7
	未整備エリア	3,701	1,730	59.3
	合計	6,194	2,915	100

アンケート調査の実施

未整備エリアを多く有する中山地域及び双海地域の広報区長及び広報委員並びに小学生又は中学生を持つ保護者に対しアンケート調査を実施した。

【広報区長及び広報委員向けアンケート】

- ① 実施期間:令和3年5月18日～令和3年6月15日(29日間)
- ② 対象者数:89人
- ③ 回答率:94.38%

【小中学生の保護者向けアンケート】

- ① 実施期間:令和3年7月1日～令和3年7月15日(15日間)
- ② 対象者数:273人
- ③ 回答率:84.98%

アンケート結果から、光ファイバ整備が非常に関心が高いテーマであることがうかがえた。(参考資料を参照)

広報区長及び広報委員に行ったアンケートでは、光ファイバ網に対して「3割以上の接続があると思われる」が7割以上となっており、また、小中学生の保護者に対するアンケートでは、接続済みの世帯を含めると7割以上の家庭が接続するという結果となっており、現役世代のいる世帯では一定程度の接続が見込まれるものと考えられる。

光ファイバ整備に期待することとして、特に防災関係やWi-Fiを活用した情報共有、学習環境の充実を望む声が寄せられており、整備後の施策に対する期待も感じられた。

今後、本市が抱える様々な課題解決や国が進める各種施策への対応のためにも、早急な整備の必要性を裏付ける結果になったといえる。

整備方針（令和3年時点）

(1) 民設民営方式で整備

初期の整備費用は多額の負担が発生するものの、整備後の維持管理経費が不要となる大きな利点がある。

民間電気通信事業者が国庫補助事業として実施することで整備費の縮減が見込めることに加え、令和3年9月議会において過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく本市過疎地域持続的発展計画へ本整備を盛り込んだことにより、過疎対策事業債（以下「過疎債」という。）を活用することが可能であることから本市の負担部分を大幅に削減できる。

(2) 事業者の選定

公募型プロポーザル方式にて選定

(3) 整備費用と対象地域

NTTの収容局として5局（伊予、中山、佐礼谷、双海、下灘）あるが、そのうち佐礼谷局と下灘局については、光ファイバへの対応が未整備となっており、その機器更新費用や材料代、工事費、人件費等が発生する。

これらを含め、本市全エリアを整備した場合には、約9.8億円の整備費用がかかるとの試算となった。

将来、次世代通信の利活用ができる環境を構築するとともに、人口動態の変化に対応しながら、防災・医療・福祉・教育産業等の今後の施策を滞りなく進めることができる環境を整えること、また行政が整備するに当たり、例えば比較的人口が少ない地域においても就学年齢である児童生徒が居住しているなど整備を希望する声が聞かれたことから、公平なサービス提供が求められているとの判断で未整備となっている全エリアを整備対象地域とした。

ただし、中山地域にある松山ロイヤルゴルフ倶楽部については、付近に世帯がなく費用対効果が見込めないことから今回の整備計画には含めないこととした。

【財源】

本市過疎地域持続的発展計画に光ファイバ整備を盛り込んだことに伴い、過疎債の借入が可能となっている。

一方で過疎債の対象は、設備投資に係る部分に限定されるため、ランニングコスト等の過疎債対象外の経費については、今後、利用可能な財源について研究を進め、臨時的な財源が創出された場合には、迅速に対応するものとする。

また、現在、総務省が所管する「高度無線環境整備推進事業」による補助金制度が令和4年度以降も継続される可能性がある。本制度は民設民営の場合、設備投資に係る部分の3分の1が補助対象となるため過疎債の借入金額を削減することができるため本制度の活用を原則とした民間電気通信事業者による整備を条件とする。

整備スケジュール

過疎債の対象外経費に対する財源が多額であり、かつ整備エリアが広大であるため民間電気通信事業者による単年度完了が見込めないことから、令和4年度から3か年の複数年での整備計画とする。

第1期（令和4年4月～令和5年3月）

下灘地区(双海地域)

日南登地区(中山地域)

整備箇所の中で最も世帯数及び児童数が多いこと、全国的にも有数の観光エリアであり下灘収容局の整備も必要であることから下灘地区を第1期エリアとする。中山地域は整備エリアが点在及び広範囲にわたっており、中山通信局の近いところからの整備になるとのことで費用面等を考慮し日南登地区を第1期エリアとし整備を進めることとする。

第2期（令和5年4月～令和6年3月）

佐礼谷・長沢地区(中山地域)

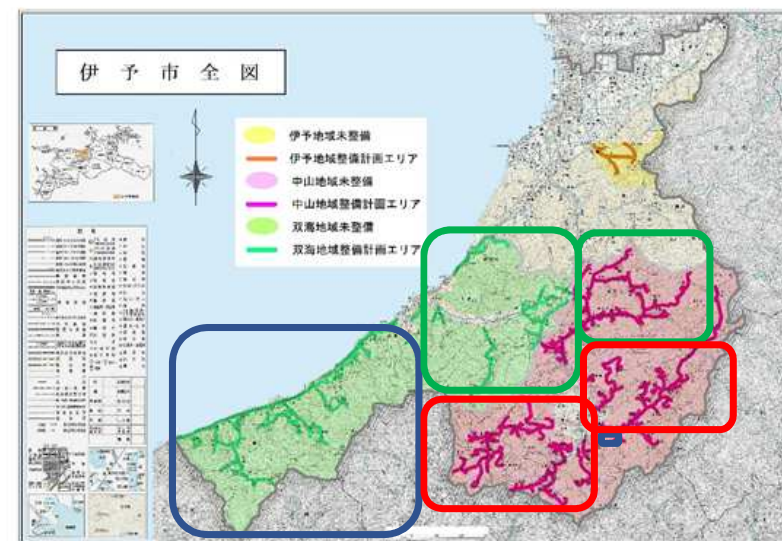
上灘地区(双海地域)

佐礼谷及び長沢地区が、次いで世帯数及び児童数が多いこと、上灘地区について、佐礼谷・長沢地区と同程度の世帯数及び児童数があり、無線通信環境も脆弱な地区があることから第2期エリアとする

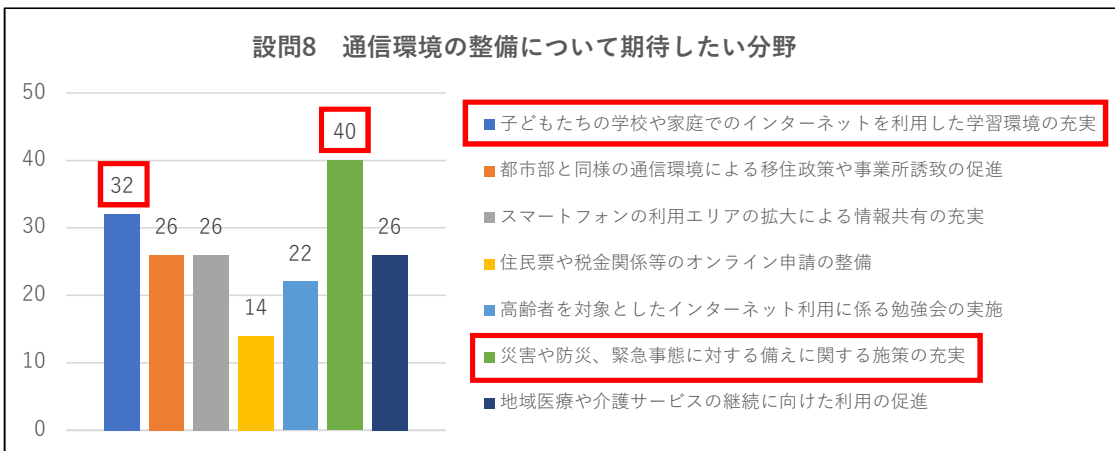
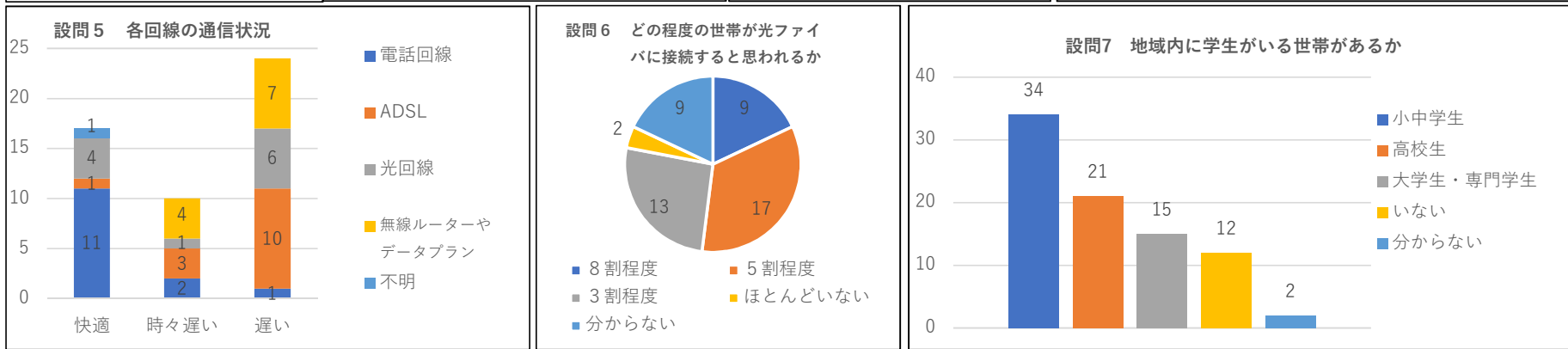
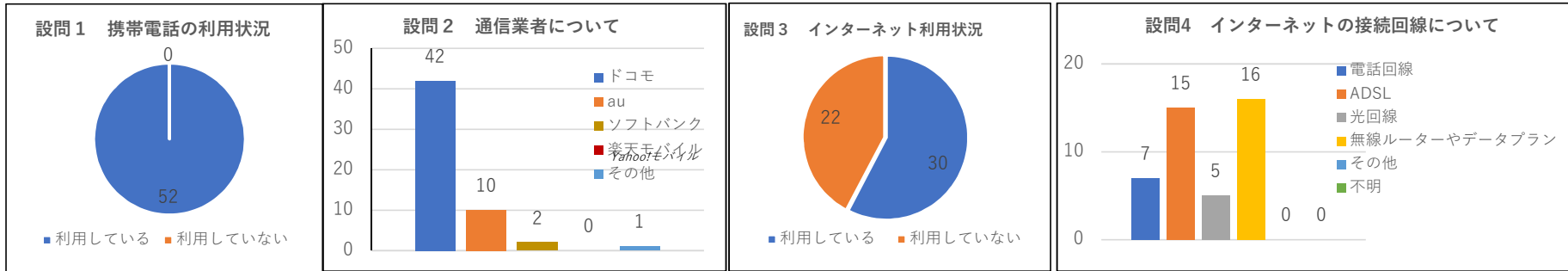
第3期（令和6年4月～令和7年3月）

栗田・永木地区 出瀧、中山地区の一部(中山地域)

整備エリアが点在、広範囲であるため第3期エリアとする。
世帯数及び児童数についても比較的少数世帯のエリアとなる。



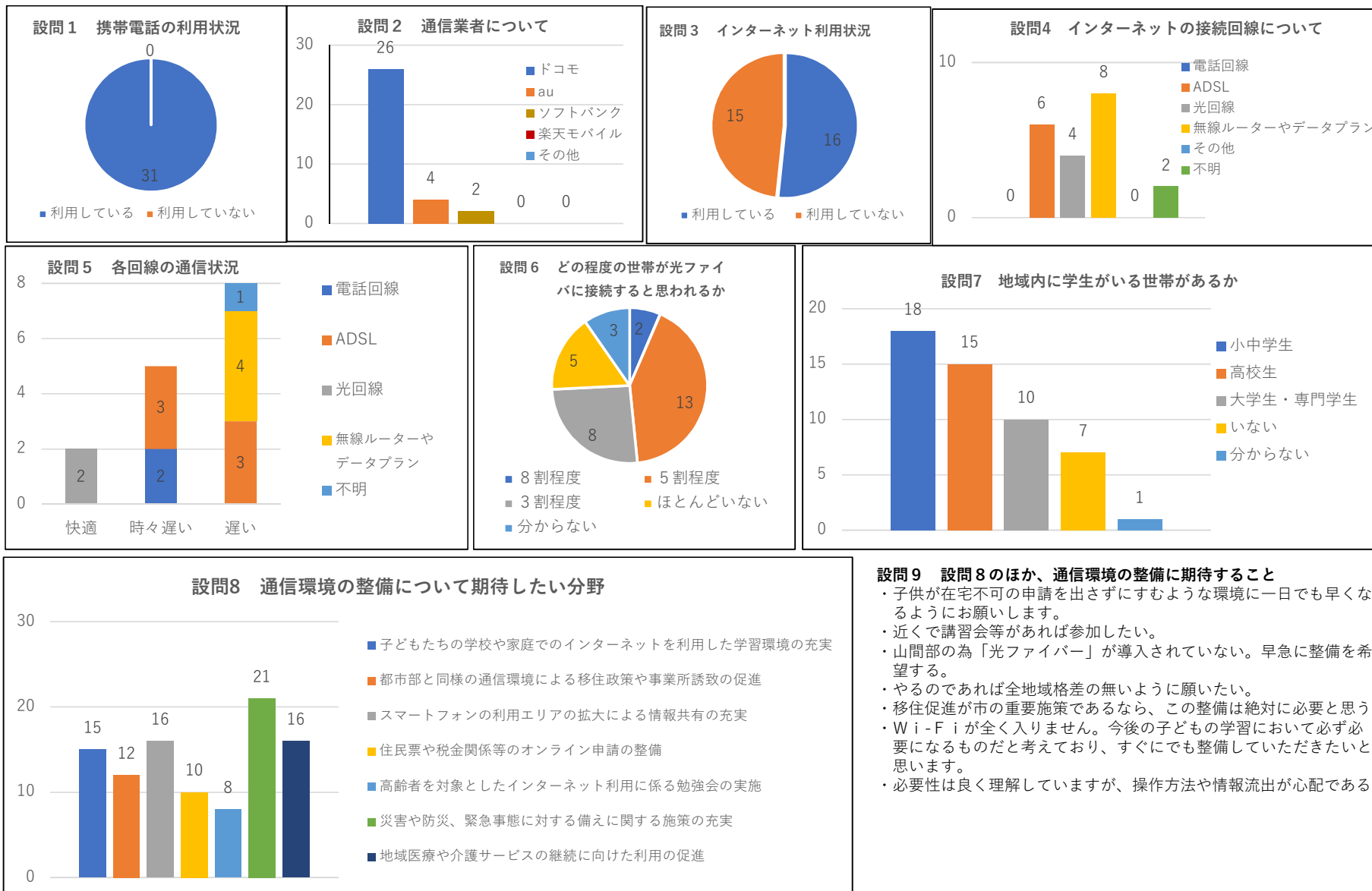
広報委員アンケート結果（6/17時点）【中山地区】 回答率53/56



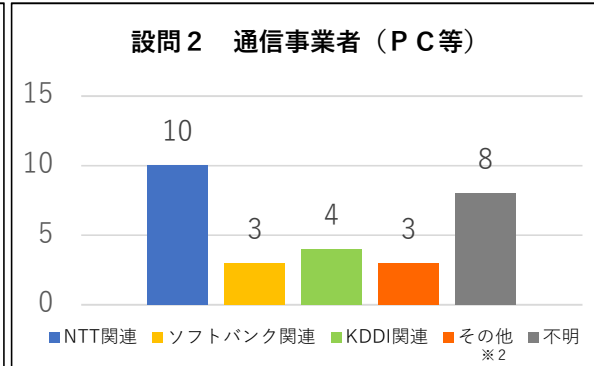
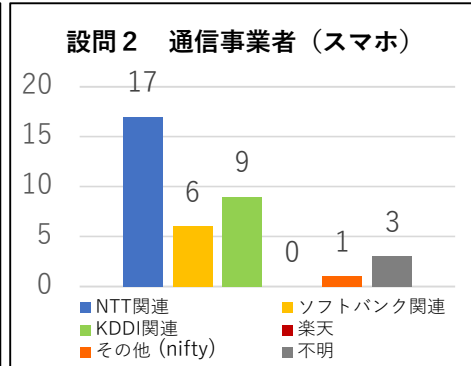
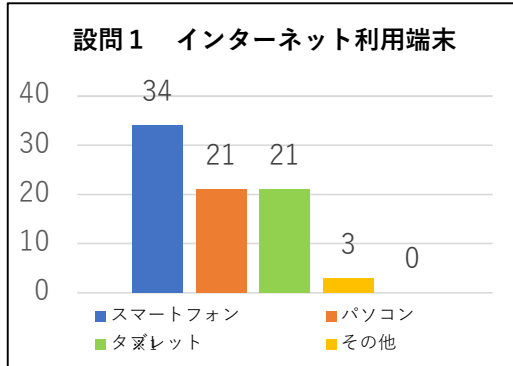
設問9 設問8のほか、通信環境の整備に期待すること

- ・現代社会においてインターネットの活用は、仕事・家庭において必要不可欠なものになっている。通信環境が整っていない地域で事業をしたり生活したりできない。市内全域への光ファイバ整備を強く希望する。
- ・光ファイバは、電気や電話の線と同じように必需品なので一日も早く引いていただきたい。
- ・遠隔診断、テレワーク
- ・コロナ禍でのテレワーク促進
- ・光ファイバー回線は必須である。
- ・田舎であればあるほど必要になってくるのではと思う。
- ・過疎、高齢化社会にとっても、この情報化社会は避けて通れない波である。言い換えれば、インターネット環境がなければ、生活に支障をきたすのである。光ファイバが整備されることによりネット環境が格段によりよくなり、この過疎化が進んでいる地域でも、新しい産業が生まれると思う。ぜひとも光ファイバ整備をお願いします。

広報委員アンケート結果（6/17時点）【双海地区】 回答率31/33



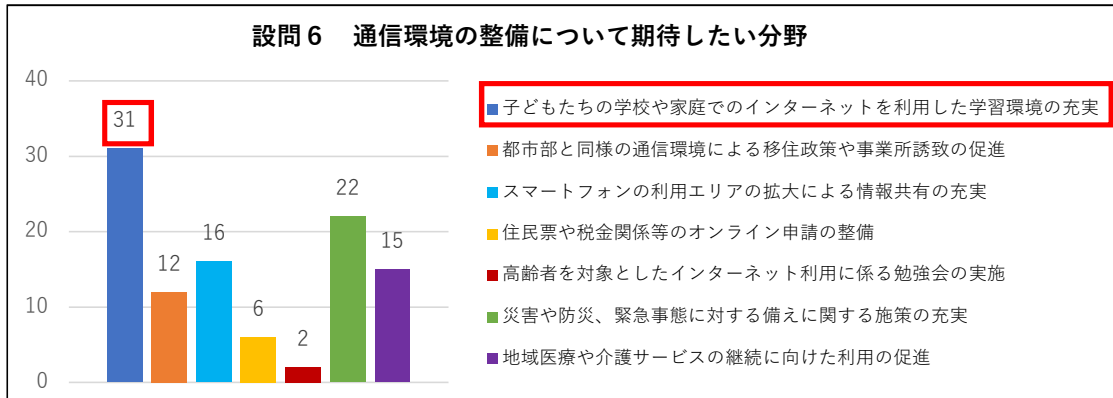
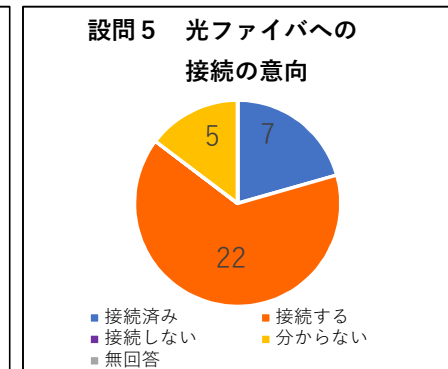
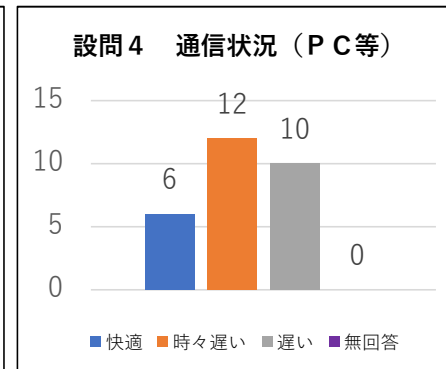
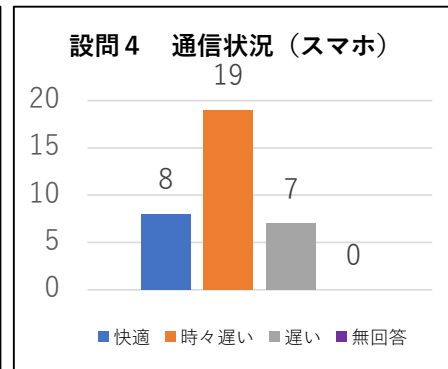
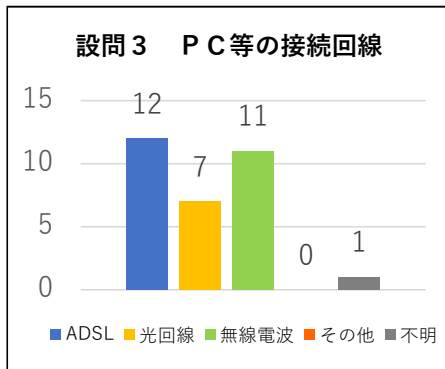
学校アンケート結果【中山中学校】 回答数：34件



※1 TV、ゲーム機

※2 ソニー関連、富士通関連、エクスモバイル

※無回答及び質問の趣旨から離れた回答は「不明」に分類

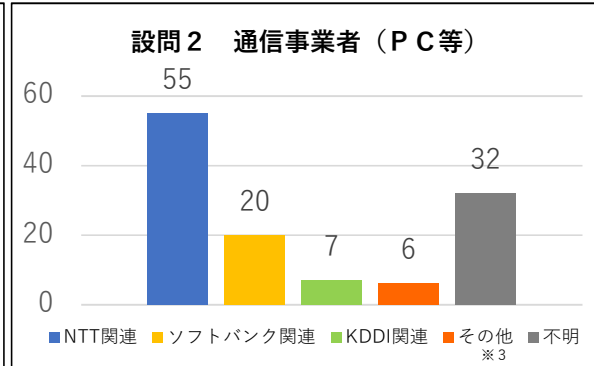
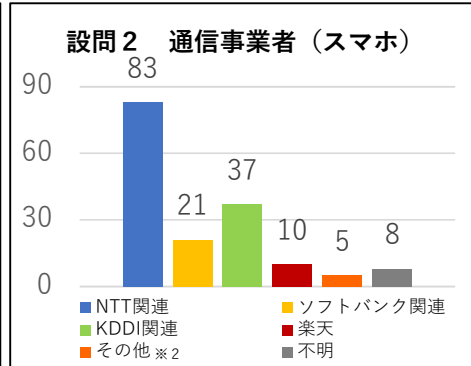
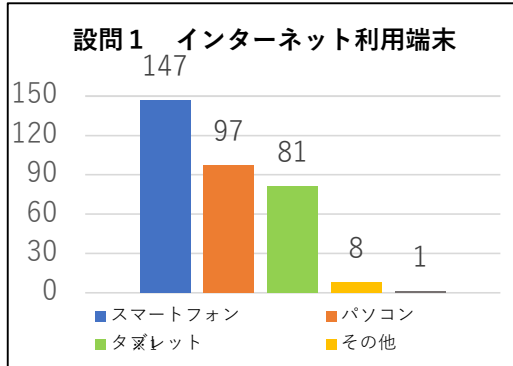


設問7 設問6のほか、通信環境の整備に期待すること

・県立高校の子どもがいますが、本年度から1人1台ずつタブレットが配布されており、すでに学校からの課題などで利用しておりますが、ADSLで中継局からかなり遠いため、速度が遅すぎて使い物になりません。非常に困っております。深夜など他の人が使わない時間に使用したり、スマートフォンのテザリングで使用したりしていますが、スマートフォンの料金が高くならざるを得ないので困ります。1日も早く光ファイバーを整備して下さい。子どもの学習にさしつかえるのでは本当に困ります。

- ・同じ伊予市内でも、住所によって通信環境に差があることを早く改善してほしいです。
- ・通信環境が整備されることで移住者増
- ・光回線が望ましいですが、費用的なことや物理的なことで実現は難しいと思います。5Gなど無線サービスも視野に入れ、可能な限り早い時期に整備していただければ非常にありがたいです。

学校アンケート結果【双海地域】 回答数：147件

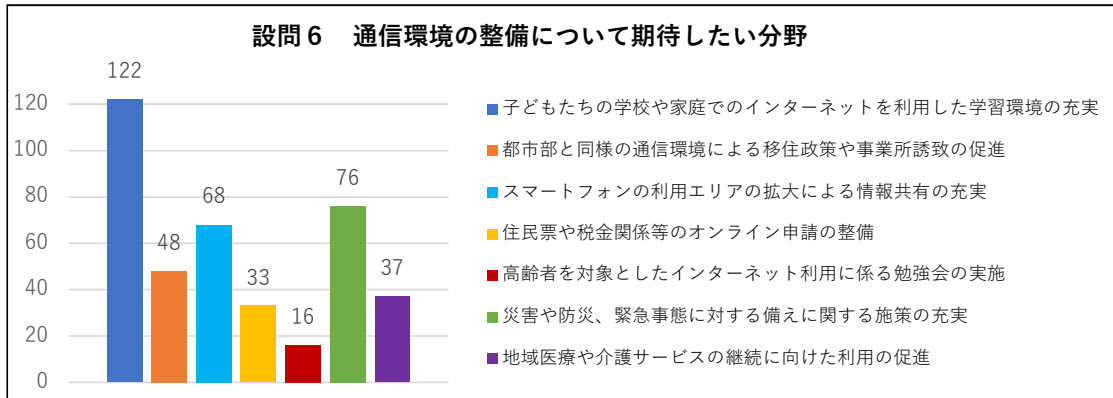
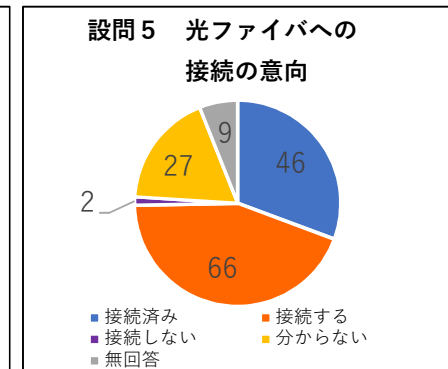
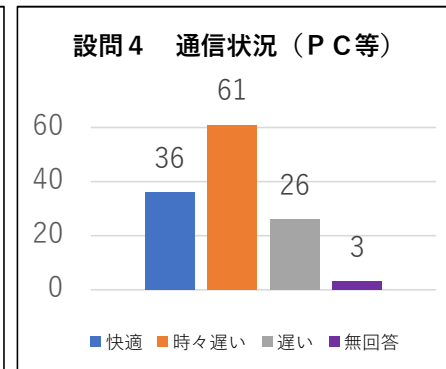
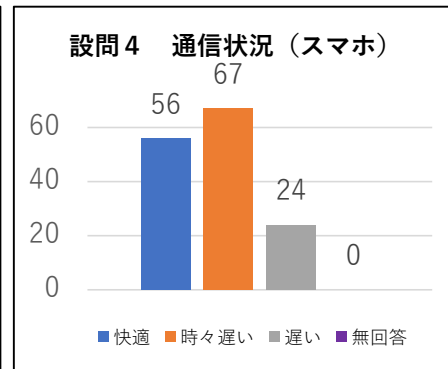
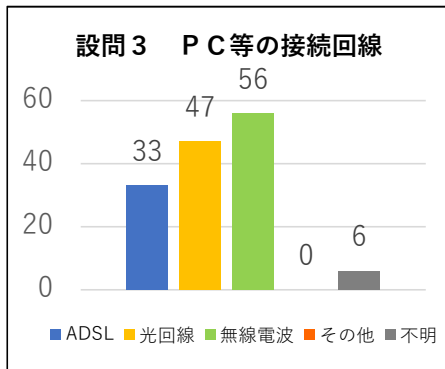


※1 TV、ゲーム機
AIスピーカー

※2 IIJ、オペテージ
イオン

※3 エディオン、
富士通関連、
エヌディエス
レグルス

※無回答及び質問の趣
旨から離れた回答は
「不明」に分類



設問7 設問6のほか、通信環境の整備に期待すること（抜粋）

- ・IYOゆめ未来館や市内の公民館でも快適に使える（えひめfreeWi-Fiではなく）通信環境がほしいです。地域の子どもたちを対象にプログラミングの無料のサークル活動を行っていますが、今のところインターネット環境が充分な公共施設がなく残念です。施設自体に環境を備えるか、どこでも使える持ち運び可能な機器の貸し出しをしていただけると嬉しいです。
- ・両隣の土津や長浜（市外だが）は整備されているのに、下灘のみ整備されていないのがずっと不満だった。採算はとれないかもしれないが、国の支援があるうちに整備してほしい。
- ・どこのWi-Fi会社もエリア外docomoのデータ通信を使用しています。60GB/月の制限があるので、月末になると速度が落ちて使用しにくい環境です。ZOOMやSNSでの講座を受けたり、これからスクールギガ構想が進むときに、アンテナがないことでネット配信のものを受け入れたり、提出できないのはかわいそうだと思います。